

【米田主宰の俳句】

天の声

冬枯や朝の匂いの目玉焼
黙々とはたらく背中冬ぬくし
限りなく柀目を埋める冬の星
一月や日の温もりの大きな木
忙中の閑を探して冬木の芽
冬帽子風吹き止まぬ胸の中
悴めりスマホに時間奪われて
山眠る縷々と血脈うけつがれ
裸木のみな宙を指し天の声
好日やこんにやくを煮て着ぶくれて